



後部リモート油圧キット

Sand Pro®/Infield Pro® 3040 および 5040 トラクションユニット用

モデル番号 08781—シリアル番号 409800000 以上

取り付け要領

この製品は、関連する全ての欧州指令に適合しています。詳細についてはこの冊子の末尾にあるDOI適合宣誓書をご覧ください。

注 サンドプロ Models 08703 および 08705 では、このキットを取り付ける前に以下のパーツを入手してください

内容	パーツ番号	数量
ディップスティック	110-8162	1
バルブプレート	108-8460-01	1
タップねじ 5/16 x 3/4")	32144-11	2
Toro PX 長寿命油圧オイル5 ガロン	133-8086	6.7 リットル

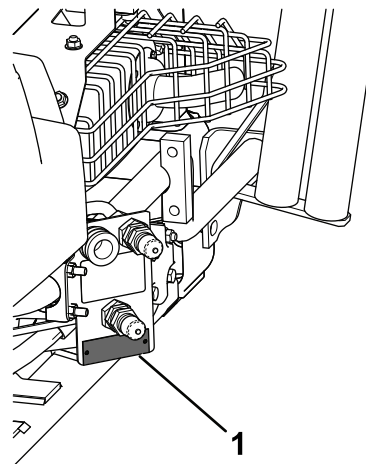


図 1

g220043

警告

高圧で噴出する作動油は皮膚を貫通し、身体に重大な損傷を引き起こす。

- 油圧を掛ける前に、油圧ラインやホースに傷や変形がないか接続部が確実に締まっているかを確認する。
- 油圧のピンホールリークやノズルからは作動油が高圧で噴出しているので、絶対に手などを近づけない。
- リークの点検には新聞紙やボール紙を使う。
- 油圧関係の整備を行う時は、内部の圧力を確実に解放する。
- 万一、油圧オイルが体内に入ったら、直ちに専門医の治療を受ける。

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店またはカスタマーサービスにおたずねください。お問い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。図 1 にモデル番号とシリアル番号を刻印した銘板の取り付け位置を示します。いまのうちに番号をメモしておきましょう。

1. 銘板取り付け位置

モデル番号 _____

シリアル番号 _____

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

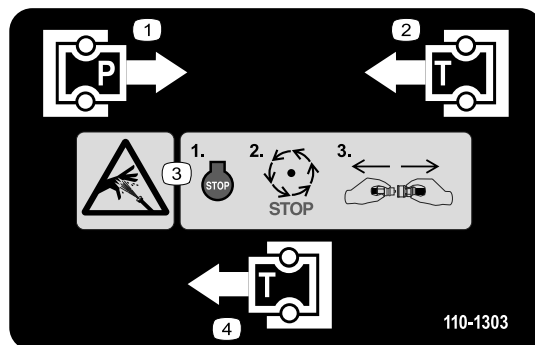


安全について

安全ラベルと指示ラベル



以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



110-1303

decal110-1303

1. 加圧側

2. タンク

3. 高圧流体が噴出して体内に入る危険クイックコネクトポートの接続を取り外しは、必ずエンジンを停止し、アタッチメント停止してから行うこと。

4. タンク

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	—	マシンの準備を行う。
2	必要なパーツはありません。	—	エアクリーナを取り外す。
3	必要なパーツはありません。	—	油圧オイルタンクとシュラウドを外す。
4	小さい 90 度 T 字フィッティングバープ付き 大きい 90 度エルボ両端ともねじ ストレーナ	1 1 1	油圧オイルタンクにフィッティングを取り 付ける。
5	リテーナブラケット マフラクランプ ホースリテーナブラケット カップラブラケット	1 2 1 1	後フレームにカップラブラケットを取り付 ける。
6	バルブ ボルト $\frac{1}{4} \times 3"$ ナット $\frac{1}{4}"$ 90度エルボ小 字フィッティング リレー	1 2 2 1 1 1	マニホールドとブラケットを取り付ける。
7	油圧ライン1番 油圧ライン2番 油圧ラインホース5番	1 1 1	油圧ラインを取り付ける。
8	油圧ポンプ 45度フィッティングオス側の端部 ハブアセンブリ 角キー $\frac{1}{4} \times 1"$ 固定ねじ $5/16 \times \frac{3}{4}"$ ポンプブラケット ボルトねじゆるみ止め接着剤が塗布され たもの、 $5/16 \times \frac{3}{4}"$ ワッシャ $\frac{3}{8}"$ 大きい 90 度エルボホースのバープ側 端部	1 1 1 1 4 1 2 2 1	油圧ポンプを取り付ける。
9	油圧ライン3番 油圧ライン4番	1 1	油圧ラインを取り付ける。
10	大きい油圧ホース 油圧ホースフィッティング付き 大きいホースクランプ 小さいホース・クランプ 細いモールドタイプの油圧ホース R クランプ ボルト $5/16 \times \frac{7}{8}"$ フランジナット ($5/16"$)	1 1 2 2 1 1 1 1	油圧ホースを取り付けます。
11	必要なパーツはありません。	—	全部の接続部を締め付ける。

手順	内容	数量	用途
12	ハーネス スイッチ ヒューズ	1	スイッチとハーネスを取り付ける。
		1	
		1	
13	油圧作動液	6.6 Lモデル 08703 と 08705	油圧オイルを入れオイル漏れがないか点検する。

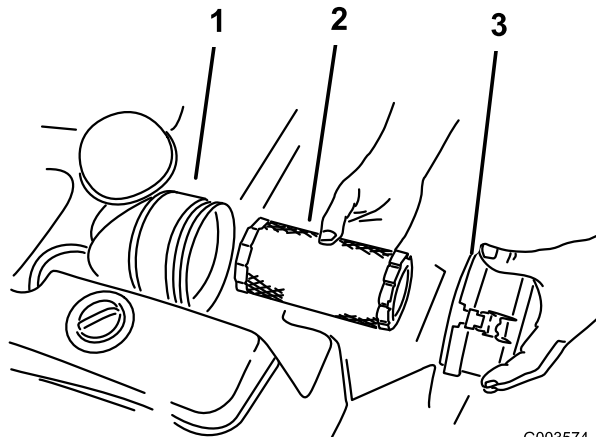
1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. アタッチメントを下げる。
3. 駐車ブレーキを掛ける。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。
5. 機体全体をていねいに洗浄する。取り付けブラケットが確実に嵌り、油圧システム内部にごみや異物が混入しないよう、汚れをすべて落とす。



G003574
g003574

図 2

1. エアクリーナのキャニスタ
2. エアフィルタ
3. キャニスタのカバー

5. エアクリーナキャニスタからホースを外す。
6. エアクリーナのストラップをゆるめて開き、キャニスタから引き抜くフィルタを抜き取った側から引き抜く図 3。

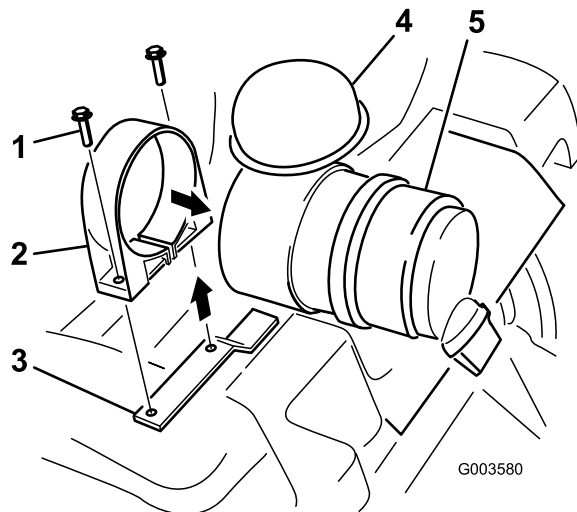
2

エアクリーナを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

1. エアクリーナの周囲をきれいに清掃する。
2. ホースについているラジエター用のクランプをゆるめてクランプをホース部にずらす。
3. エアクリーナを固定している内側ボルトを外す。
4. エアクリーナのカバーとフィルタを取り外す図 2。



G003580

g003580

図 3

1. ボルト
2. エアクリーナのストラップ
3. 機体フレーム
4. キャップ
5. エアクリーナのキャニスタ

7. 外したホースの口から異物が内部に入らないように、ホースの口にかバーを掛けるか口をウェスで覆うなどする。
8. ストラップを機体フレームに固定しているもう一方のボルトを外す。

3

油圧オイルタンクとシュラウドを外す

必要なパーツはありません。

手順

1. タンク内部のオイルを抜き取る。手順についてはオペレーターズマニュアルを参照のこと。
2. 機体後部を持ち上げ、サポートブロックを当てて後部を浮かした状態で支える。オペレーターズマニュアルの機体の持ち上げを参照のこと。

警告

機械式や油圧式のジャッキが外れると重大な人身事故が発生する。

マシンをジャッキアップしたら、必ずジャッキスタンドで支えること。

3. 左後ろのタイヤを取り外す。
4. 左ホイール用のシュラウドをフレームに固定しているフランジヘッドねじ4本を外す 図 4。シュラウドを外して保管する。

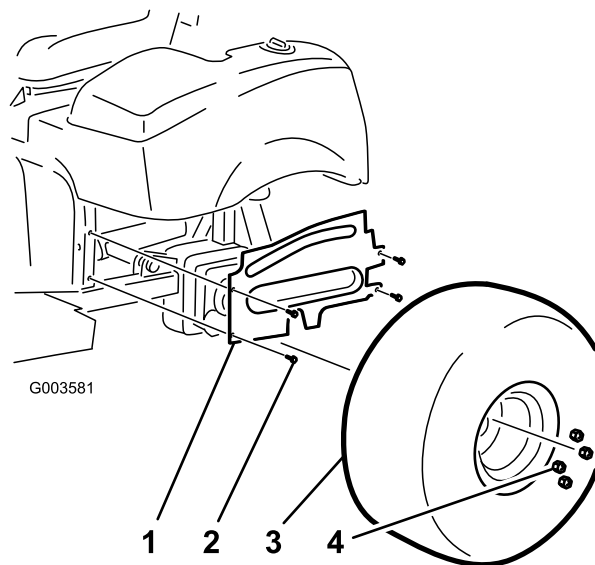


図 4

- | | |
|----------------|--------|
| 1. 左ホイール用シュラウド | 3. タイヤ |
| 2. フランジヘッドねじ | 4. ナット |

5. 左前スクリーンをフレームに固定しているフランジヘッドねじ2本を外す。スクリーンを外して保管する。

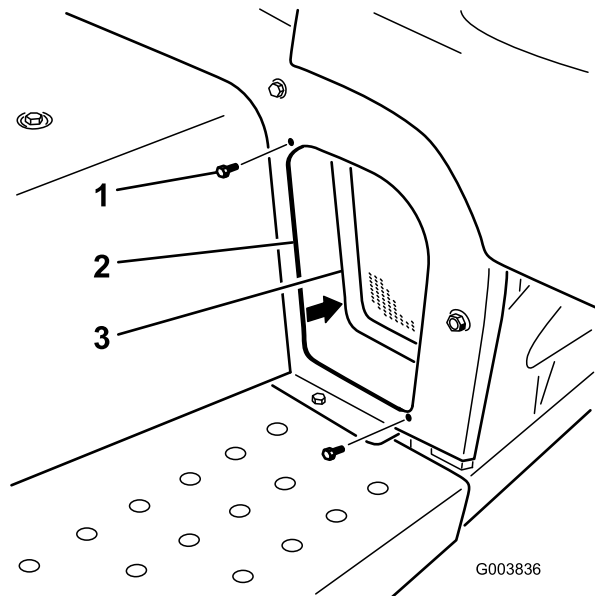


図 5

- | | |
|--------------|------------|
| 1. フランジヘッドねじ | 3. 左前スクリーン |
| 2. フレーム | |

6. リアヒッチのシールドをフレームに固定しているボルト3本を外す。

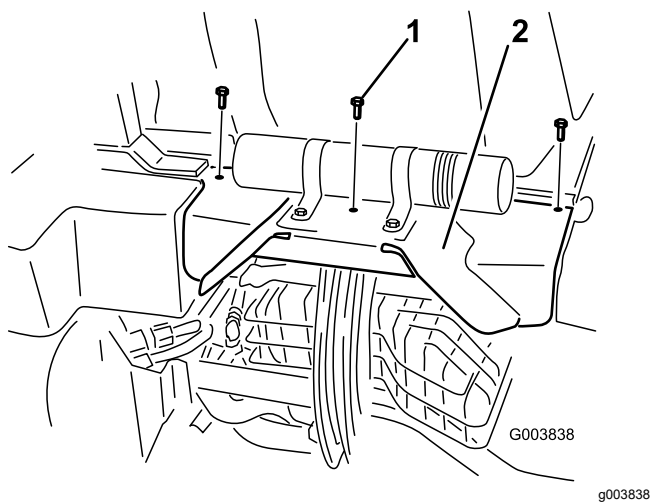


図 6

1. ボルト
2. リアヒッチシールド

7. センターシュラウドをフレームに固定しているネジ2本を外す 図 7。シュラウドを外して保管する。

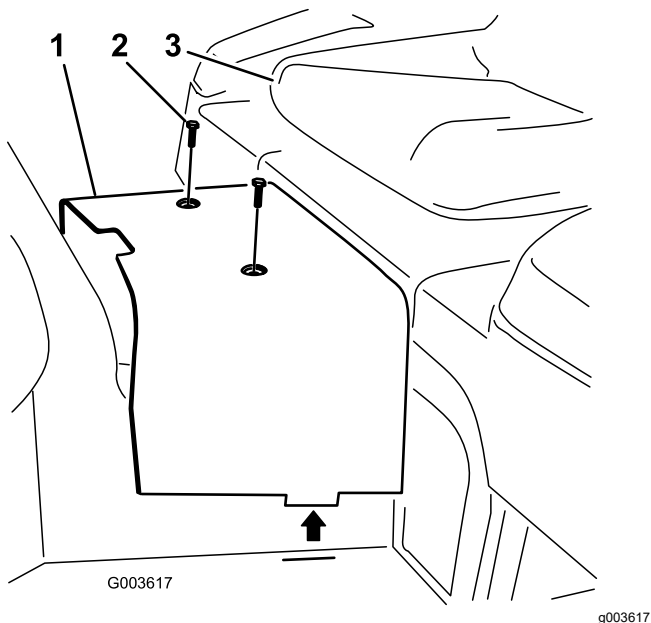


図 7

1. センターシュラウド
2. ネジ
3. 運転席

8. タンクに入っていく油圧ラインを外す。
9. 機体フレームから油圧オイルタンクの上部ブラケットを外し、フレーム側部についているブラケット2つをゆるめる 図 8。タンクを外し、金具類と共に保管する。

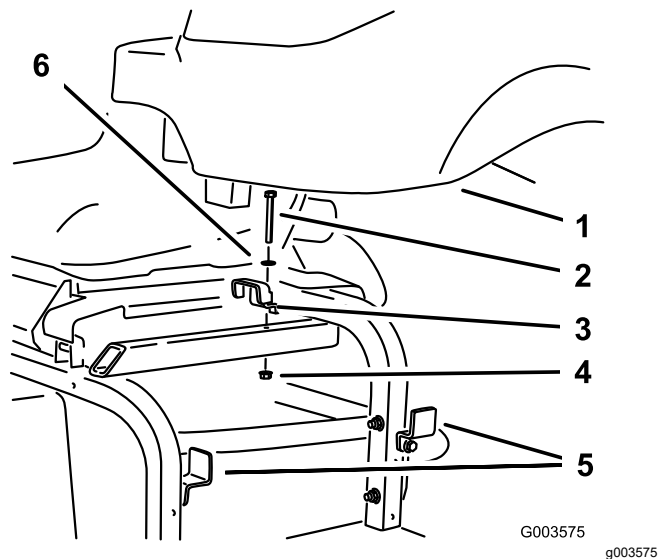


図 8

1. 油圧オイルタンク
2. ボルト
3. 上部ブラケット
4. ナット
5. 側部ブラケット
6. ワッシャー

4

油圧オイルタンクにフィッティングを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	小さい 90 度 T 字フィッティングバープ付き
1	大きい 90 度エルボ両端ともねじ
1	ストレーナ

手順

注 全部のOリングをきちんと潤滑し、対応するフィッティングの正しい位置にセットしてから取り付けてください。

注 全部のフィッティングと油圧ラインをまず仮付けし、問題がないことを確認してから本締めしてください。各フィッティングを図に示されているように取り付ける。

1. タンク側部から油圧タンク用プラグ2個を取り外す。
2. 大きい方のプラグを外したところのタンク内側にストレーナを取り付ける。
3. ストレーナに大きい 90 度エルボを取り付ける。
4. 小さい方のプラグを取り外したところに、小さい 90 度 T 字フィッティングバープ付きを取り付ける 図 9。

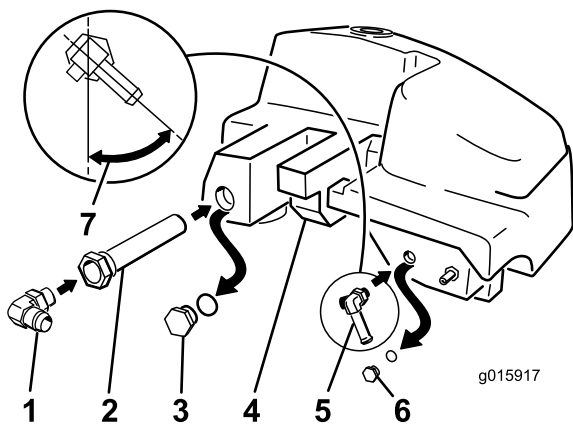


図 9

1. 大きい 90 度エルボ図のような角度に取り付ける。
2. ストレーナ
3. 大きいプラグを抜く。
4. 油圧オイルタンク
5. 小さい 90 度 T 字フィッティング図のような角度に取り付ける。
6. 小さいプラグを抜く。
7. 45度

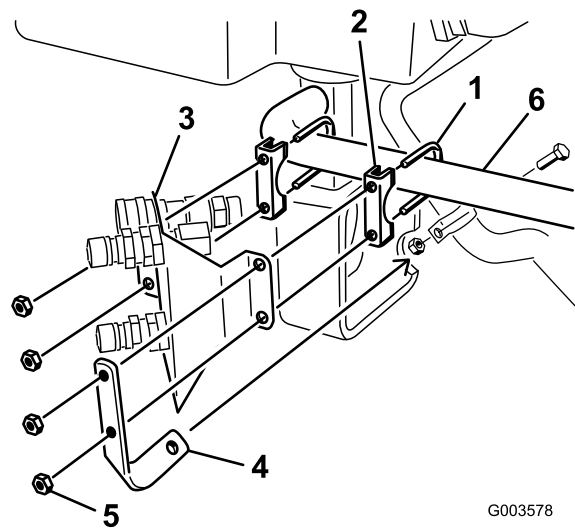


図 10

1. マフラーランプ
2. マフラーブラケット
3. カップラブラケット
4. リターナブラケット
5. ナット
6. 後フレームの丸いチューブ

5

後フレームにカップラブラケットを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	リターナブラケット
2	マフラクランプ
1	ホースリターナブラケット
1	カップラブラケット

手順

注 全部の油圧ラインを仮配線し、問題がないことを確認してから本締めしてください。

1. 後フレームの丸いチューブにクランプを通す。
2. ホースリターナブラケットとカップラブラケットを、マフラークランプに取り付ける。

注 この時点ではまだナットを締め付けないこと。カップラブラケットがゆるんだ状態でないと油圧ラインを取り付けることができない 図 10。

3. 丸管部にカップラブラケットを仮止めする 図 11を参照。

注 カップラブラケットは管の曲がり始め部分に取り付けてください。

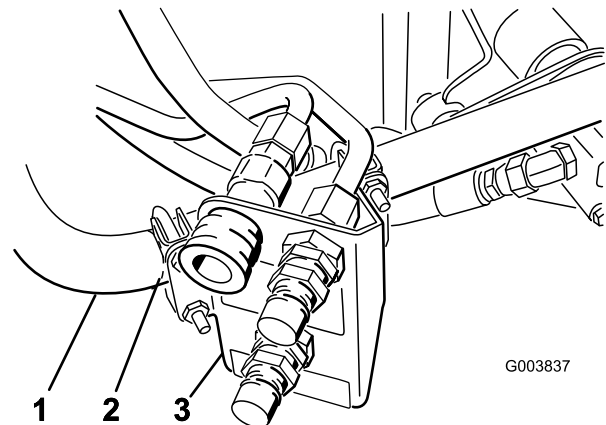


図 11

1. 丸管のフレームチューブ
2. カップラブラケットの一時取り付け位置
3. カップラブラケット

6

バルブを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	バルブ
2	ボルト 1/4 x 3"
2	ナット 1/4"
1	90度エルボ小
1	字フィッティング
1	リレー

手順

注 全部のOリングをきちんと潤滑し、対応するフィッティングの正しい位置にセットしてから取り付けてください。

注 全部のフィッティングと油圧ラインをまず仮付けし、問題がないことを確認してから本締めしてください。各フィッティングを図に示されているように取り付ける。

1. 各フィッティングを図に示されているように取り付け。新しいバルブの側部に 字フィッティングを取り付ける 図 12を参照。
2. 新しいバルブの上部 に小さい 90 度エルボを取り付ける 図 12。
3. バルブブラケットから、既存のバルブを取り外す 図 12。
4. バルブブラケットにバルブを取り付けるのと同時にバルブにリレーを取り付ける。
5. バルブブラケットにバルブを取り付けるボルト 1/4 x 3" 2 本とナット 1/4" 2 個を使用する 図 12。

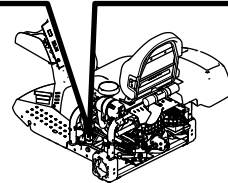
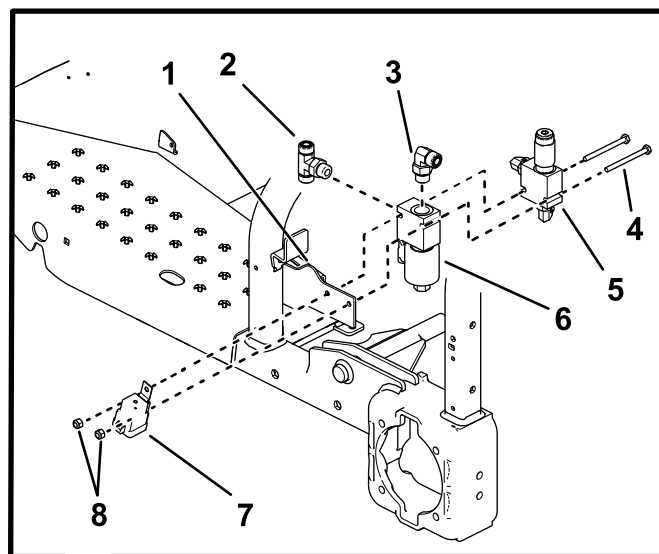


図 12

g363211

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. バルブブラケット | 5. 既存のバルブ |
| 2. T字フィッティング | 6. 新しいバルブ |
| 3. 90度エルボ小 | 7. リレー |
| 4. ボルト 1/4 x 3" | 8. ナット 1/4" |

7

油圧ライン 1、2、5 を取り付け

この作業に必要なパーツ

1	油圧ライン1番
1	油圧ライン2番
1	油圧ラインホース5番

手順

油圧ラインの正しい配置については 図 13 を参照する。

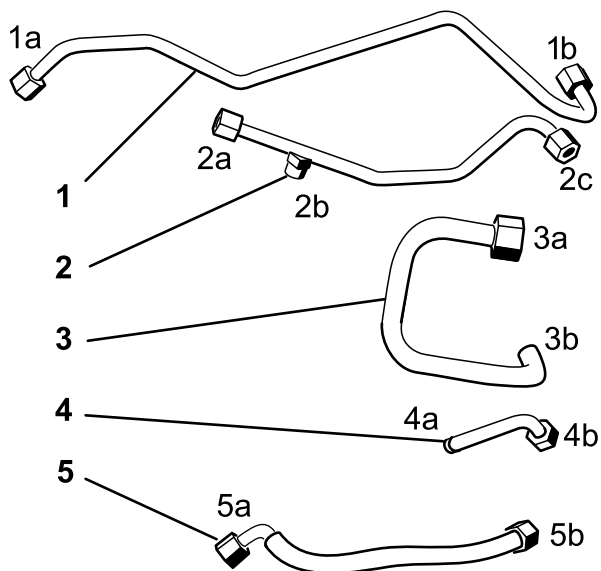


図 13

g362945

- | | |
|------------|---------------|
| 1. 油圧ライン1番 | 4. 油圧ライン4番 |
| 2. 油圧ライン2番 | 5. 油圧ラインホース5番 |
| 3. 油圧ライン3番 | |

注 全部の油圧ラインを仮配線し、問題がないことを確認してから本締めしてください。

- 図 14 に示すように、油圧ライン1番を機体に位置決めする。
- バルブの側部に組みつけられたフィッティングに油圧ライン1番を取り付ける図 14。
- 油圧ライン1番を、上側のオスのカップラに取り付ける図 14。

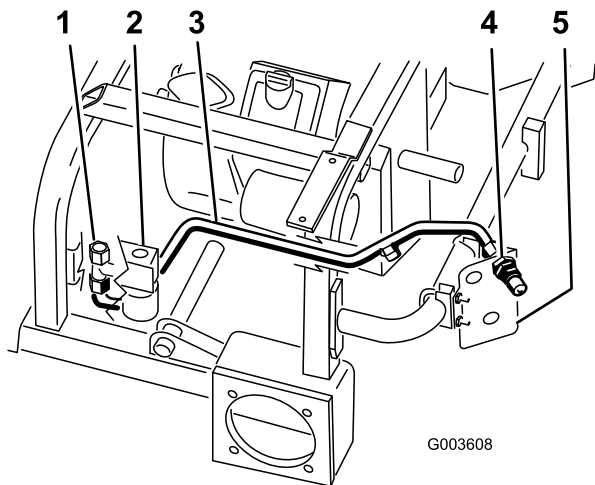


図 14

G003608

g003608

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 1. バルブの側部に 字フィッティングを取り付ける。 | 4. 上側のオスのカップラ |
| 2. 新しいバルブ | 5. カップラブラケット |
| 3. 油圧ライン1番 | |

- 図 15 に示すように、油圧ライン2番を機体に位置決めする。
- 90度エルボと新しいバルブの上部に、油圧ライン2番を接続する図 15。
- 油圧ライン2番を、上側のメスのカップラに取り付ける図 15。

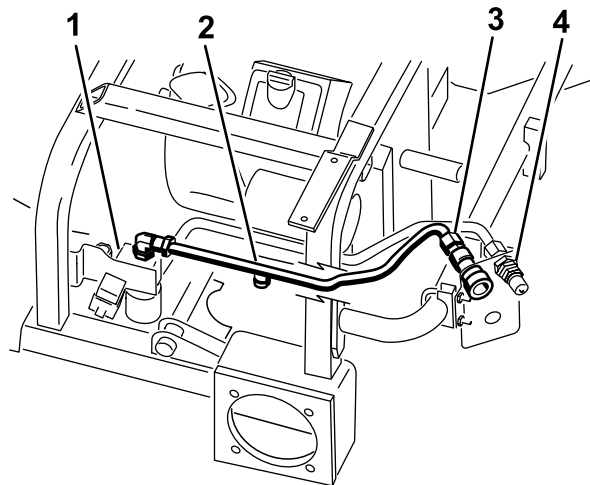


図 15

g362946

- | | |
|------------|---------------|
| 1. 新しいバルブ | 3. 上側のメスのカップラ |
| 2. 油圧ライン2番 | 4. カップラブラケット |

- 油圧ラインホース5番を、下側のオスのカップラに仮止めする図 16。

注 このホースのもう一方の端の接続は、ステップ10で行う。

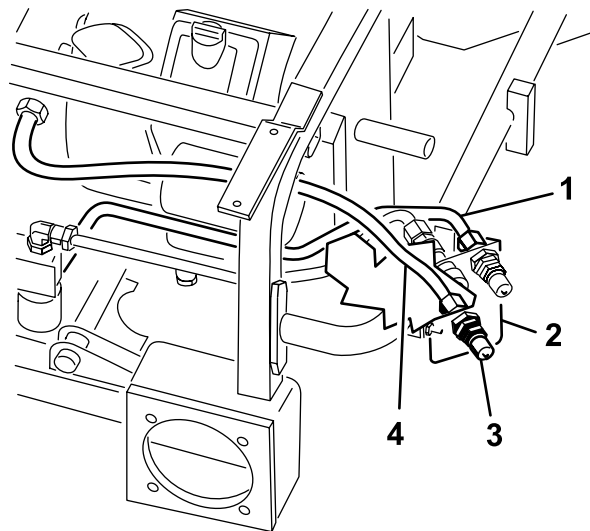


図 16

g362949

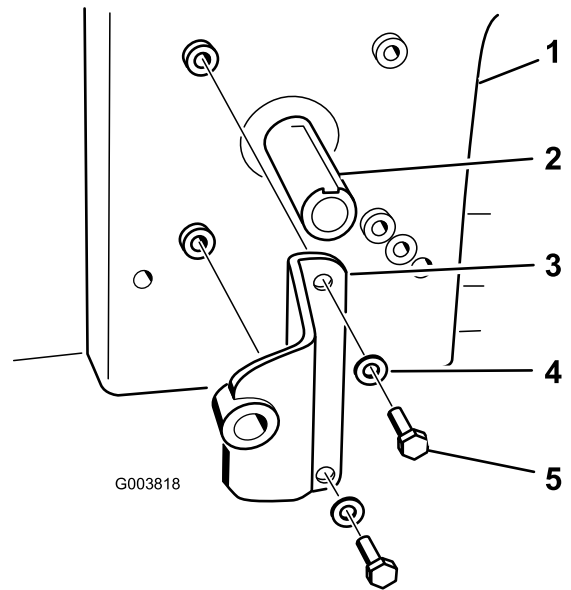
- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 油圧ライン1番 | 3. 下側のオスのカップラ |
| 2. カップラブラケット | 4. 油圧ラインホース5番 |

8

油圧ポンプを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	油圧ポンプ
1	45度フィッティングオス側の端部
1	ハブアセンブリ
1	角キー 1/4 x 1"
4	固定ねじ 5/16 x 3/4"
1	ポンプブラケット
2	ボルトねじゆるみ止め接着剤が塗布されたもの、5/16 x 3/4"
2	ワッシャ 3/8"
1	大きい 90 度エルボホースのバープ側端部



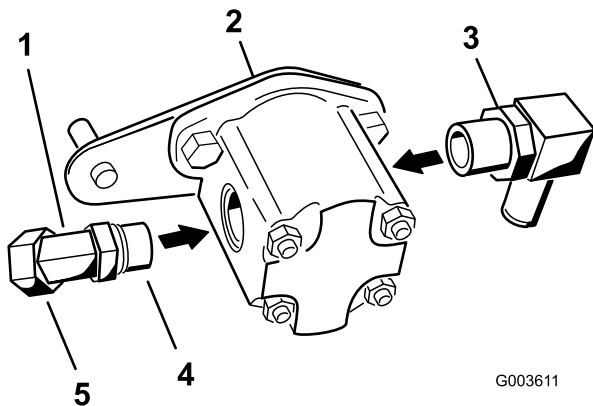
g003818

図 18

1. エンジン
2. エンジンの PTO シャフト
3. ポンプブラケット
4. ワッシャ 3/8"
5. ボルト 5/16 x 3/4"

手順

1. 大きい90度の角エルボを油圧ポンプの側部に取り付ける。
2. 45度の角エルボを油圧ポンプの側部に取り付ける 図 17。



g003611

図 17

1. 45度エルボ
2. 油圧ポンプ
3. 大きい 90 度エルボホースのバープ側端部
4. オス側端部
5. メス側端部

3. エンジンの PTO についているカバーを外す。
4. エンジンにポンプブラケットを取り付けるボルト2本 5/16 x 3/4"とワッシャ2枚 3/8"インチを使用する。ポンプブラケットの正しい取り付け位置については 図 18 を参照のこと。

5. エンジンの PTO のシャフトと油圧モータのシャフトに焼付防止剤を塗る。
 6. エンジンのPTOシャフトのスロットに角キー 1/4 x 1"を取り付ける 図 19。
 7. ハブ・アセンブリを角キーに合わせ、エンジンの PTO シャフトに取り付ける 図 19。
- 注** ハブ・アセンブリをシャフトの一番奥までしっかり入れてください。
8. 2本の固定ねじ 5/16 x 3/4"にねじゆるみ止め接着剤取り外し可能タイプを塗って、ハブアセンブリを PTO シャフトに固定する 図 19。

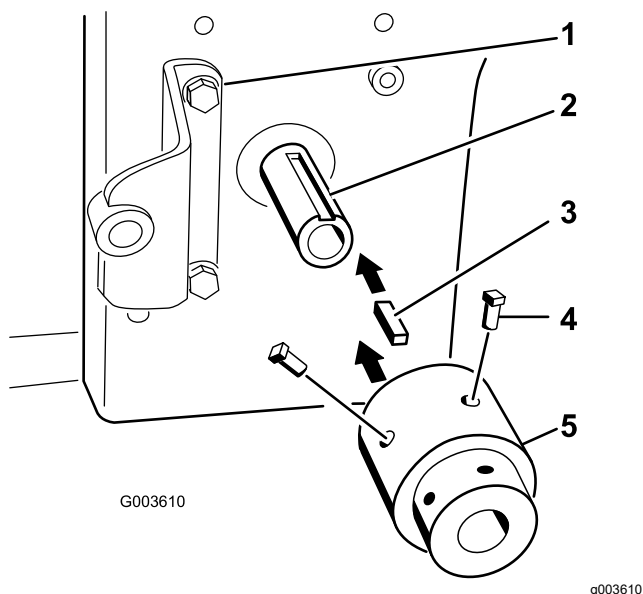


図 19

1. ポンプブラケット
2. エンジンの PTO シャフト
3. 角キー $\frac{1}{4} \times 1$ "
4. 固定ねじ $5/16 \times \frac{3}{4}$ "
5. ハブアセンブリ

9. 油圧ポンプのシャフトをハブ・アセンブリに取り付ける時にポンププレート用スタッドをポンプブラケットに取り付ける。

注 油圧ポンプのシャフトがエンジンの PTO シャフトに接触する 図 20。

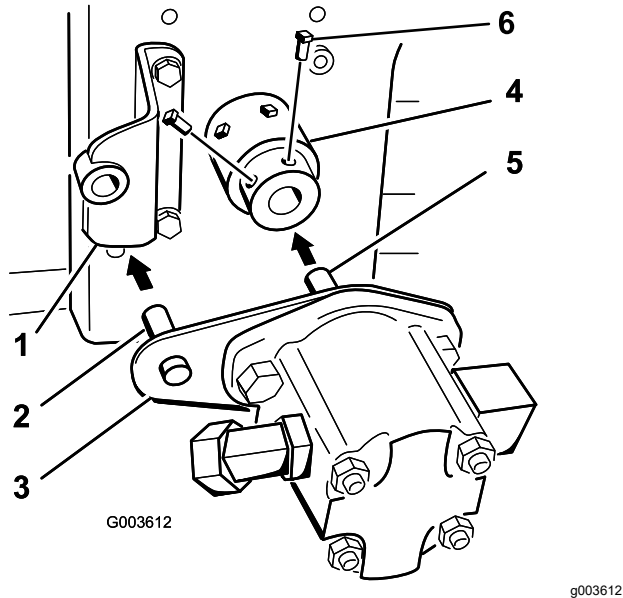


図 20

1. ポンプブラケット
2. ポンププレートのスタッド
3. ポンププレート
4. ハブアセンブリ
5. 油圧ポンプへのシャフト
6. 固定ねじ $5/16 \times \frac{3}{4}$ "

注 ポンププレートとハブアセンブリとの間に隙間があることを確認する。隙間が全然ない場合は、ハブアセンブリが正しく取り付けられていないので取り付けを修正する 図 21。

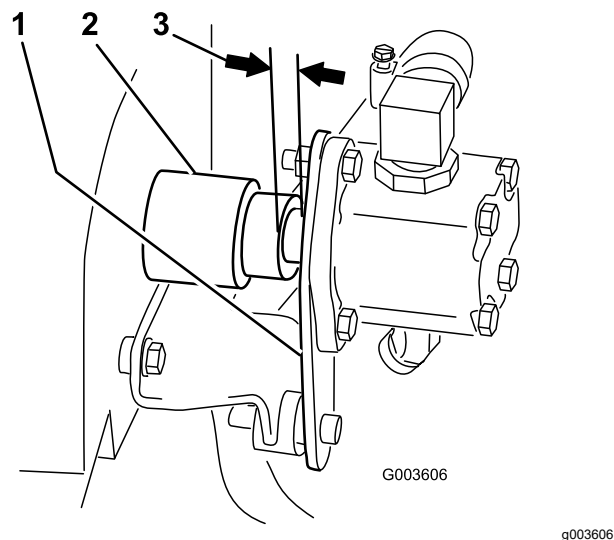


図 21

1. ポンププレート
2. ハブアセンブリ
3. ハブアセンブリとポンププレートとの間の隙間が 1.03.1mm

11. 2本の固定ねじ $5/16 \times \frac{3}{4}$ "にねじゆるみ止め接着剤取り外し可能タイプを塗り、ハブアセンブリを油圧ポンプのシャフトに固定する 図 20。

9

油圧ライン 3、4 を取り付ける。

この作業に必要なパーツ

1	油圧ライン3番
1	油圧ライン4番

手順

注 全部の油圧ラインを仮配線し、問題がないことを確認してから本締めしてください。

油圧ラインの正しい配置については 図 22 を参照する。

10. ハブアセンブリがシャフトの一番奥に完全に入っている必要がある。

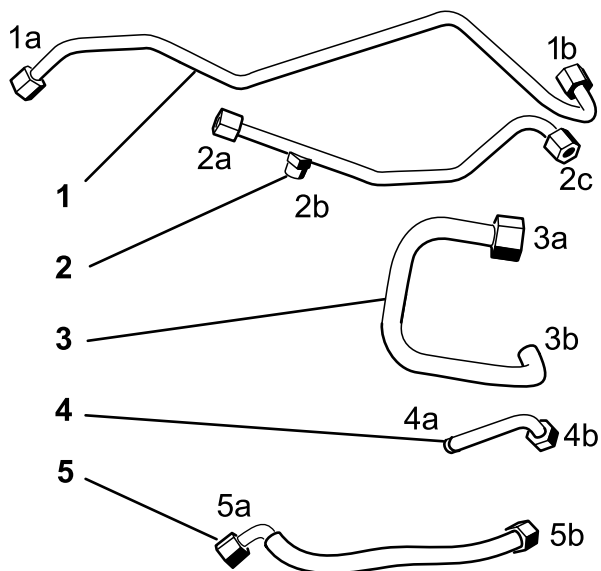


図 22

g362945

- | | |
|------------|------------|
| 1. 油圧ライン1番 | 4. 油圧ライン4番 |
| 2. 油圧ライン2番 | 5. 油圧ライン5番 |
| 3. 油圧ライン3番 | |

1. 既存のホースを油圧タンクに元通りに取り付ける。
2. 油圧オイルタンクをフレームに取り付け、これを先ほど取り外したブラケットとゆるめてあったブラケットで固定する 図 23。

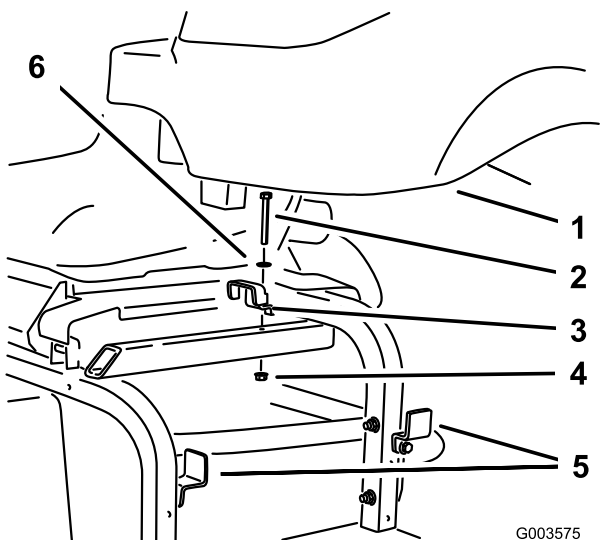


図 23

G003575

g003575

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 油圧オイルタンク | 4. ナット |
| 2. ボルト | 5. 側部ブラケット |
| 3. 上部ブラケット | 6. ワッシャ |

3. バルブの側部組みつけられたフィッティングに油圧ライン4番を取り付ける 図 24。

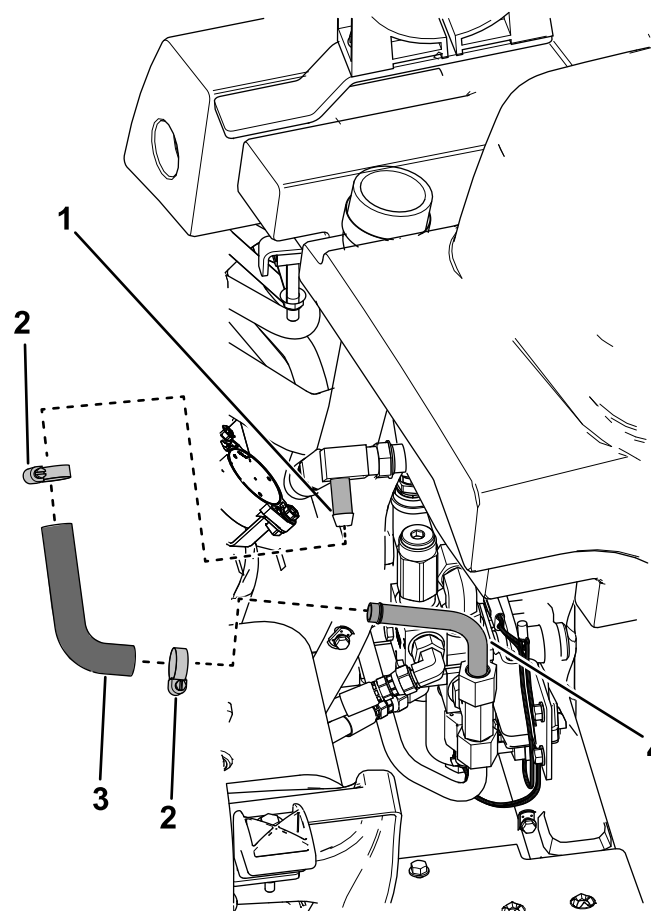


図 24

g363375

- | | |
|--|------------------|
| 1. 油圧オイルタンクの小さい 90 度 T 字フィッティング
バンプ付き | 3. 細いモールドタイプのホース |
| 2. ホースクランプ | 4. 油圧ライン4番 |

4. 図 25 に示すように、油圧ライン3番を機体に位置決めする。
5. ストレーナと油圧オイルタンクに取り付けた大きい 90 度エルボに、油圧ライン3番を取り付ける 図 25。

10

油圧ホースを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	大きい油圧ホース
1	油圧ホースフィッティング付き
2	大きいホースクランプ
2	小さいホース・クランプ
1	細いモールドタイプの油圧ホース
1	R クランプ
1	ボルト5/16 x 7/8"
1	フランジナット (5/16")

手順

注 どのホースも摩れたり当たったりしていないことを確認してください。

1. 大きいホースクランプ 2 個を太い油圧ホースに取り付ける。
2. この太い油圧ホースを、油圧オイルポンプの側部に取り付けた90度エルボに取り付ける [図 26](#)。
3. ホースとエルボにつけたホースクランプを締め付ける [図 26](#)。
4. 太い油圧ホースを油圧ライン3番に取り付ける [図 26](#)。
5. ホースと油圧ライン3番のにつけたホースクランプを締め付ける [図 26](#)。

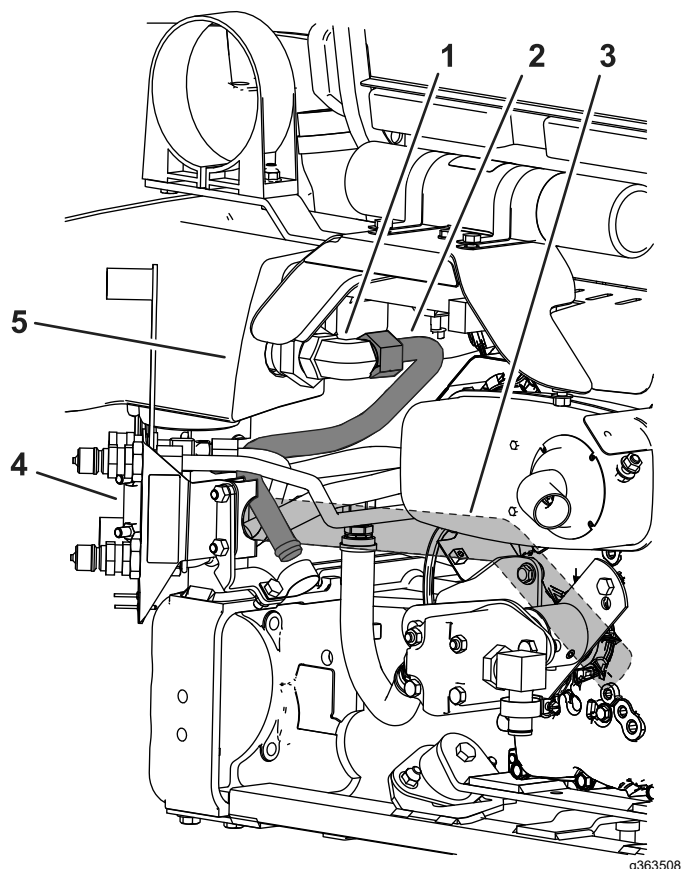


図 25

1. タンクに取り付けた大きい 90 度エルボ
2. 油圧ライン3番
3. 機体フレーム
4. カップラブラケット
5. 油圧オイルタンク

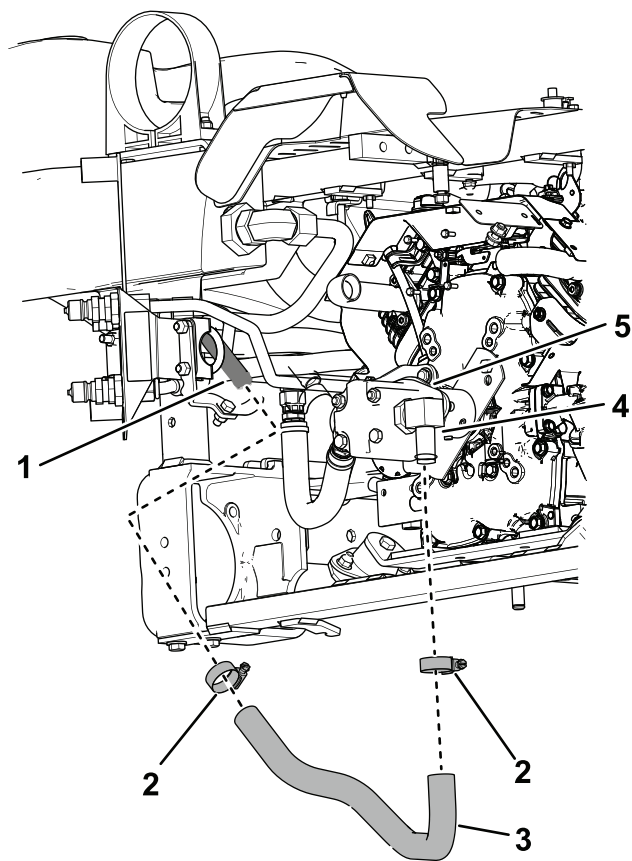
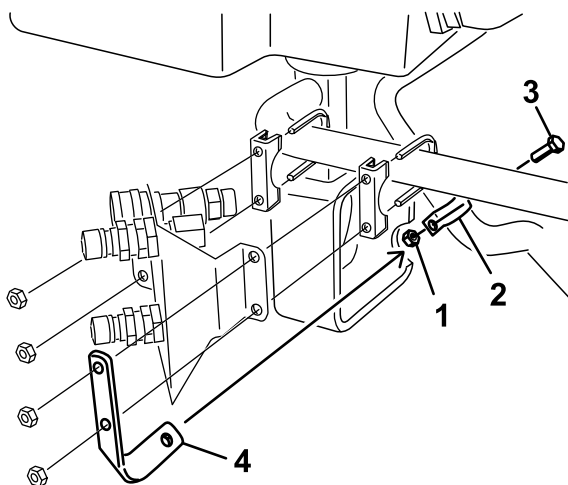


図 26

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 油圧ライン3番 | 4. 90度エルボ |
| 2. ホースクランプ | 5. 油圧ポンプ |
| 3. 大きい油圧ホース | |

g363376

6. 図 27と図 30に示すように、太い油圧ホースに R クランプを取り付ける。



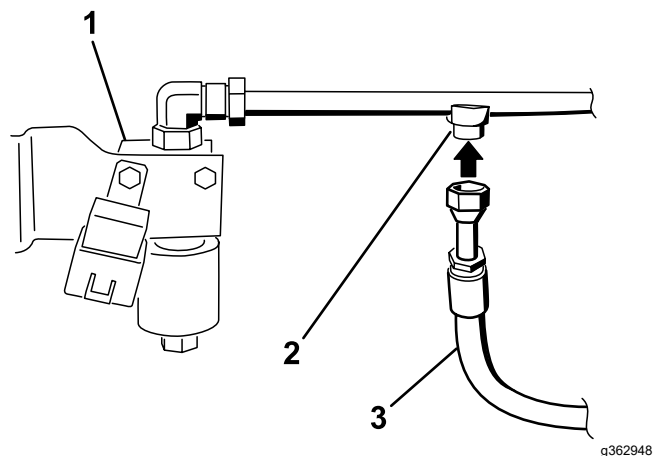
G003615

g003615

図 27

- | | |
|------------------------|--|
| 1. ナット $\frac{3}{8}$ " | 3. ボルト $\frac{3}{8}$ x $\frac{3}{4}$ " |
| 2. R クランプ | 4. リターナブラケット |

7. リターナブラケットにRクランプを取り付けるボルト1本 $\frac{5}{16}$ x $\frac{7}{8}$ "とナット $\frac{5}{16}$ "を使用する 図 27を参照。
8. 図 28に示すように、フィッティング付きの油圧ホースを油圧ライン2番のフィッティングに取り付ける。



g362948

図 28

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. バルブ | 3. 油圧ホースフィッティング付き |
| 2. 油圧ライン2番のフィッティング | |

9. フィッティング付きの油圧ホースを、油圧ポンプに取り付けた 45 度エルボに取り付ける 図 29と 図 30。

注 油圧シリンダの下側になる。

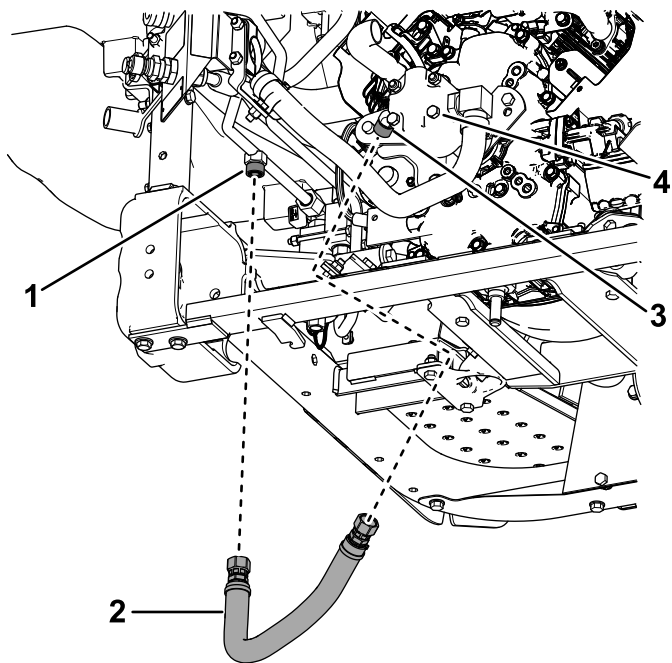


図 29

g363377

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1. 油圧ライン2番のフィッティング | 3. 45度エルボ |
| 2. 油圧ホースフィッティング付き | 4. 油圧ポンプ |

10. 油圧ホースと油圧ラインと油圧ポンプとの位置関係については 図 30 を参照のこと。

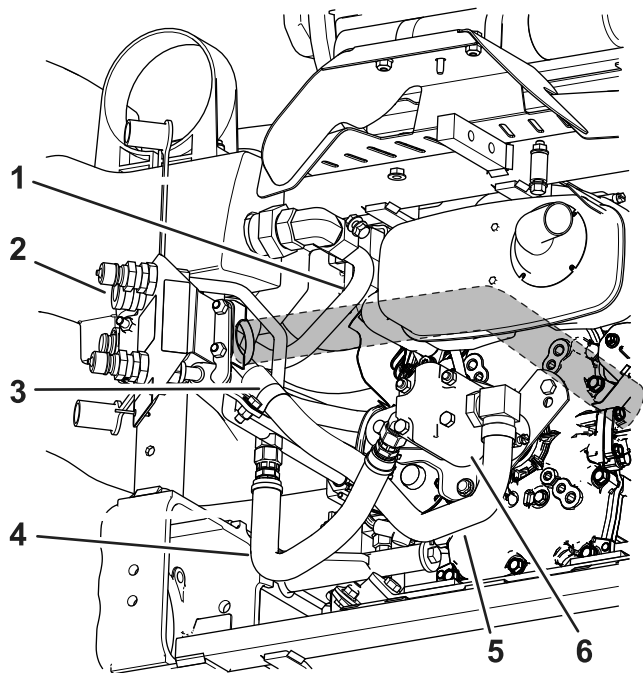


図 30

g363520

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 油圧ライン3番 | 4. 油圧ホースフィッティング付き |
| 2. カップラブラケット | 5. 大きい油圧ホース |
| 3. R クランプ | 6. 油圧ポンプ |

11. モールドタイプの細い油圧ホースに小さいホースクランプ2個を取り付ける 図 24 と 図 31。
12. モールドホースの長い方の端部を、油圧オイルタンクの 90 度 T 字フィッティングに取り付ける 図 31。
13. モールドホースの短い方の脚を、油圧ライン4番のバーブ端部に取り付ける 図 31。
14. モールドホースの両端につけてあるホースクランプを締め付ける。
15. 油圧ラインホース5番を、小さい 90 度 T 字フィッティングに仮止めする 図 31。

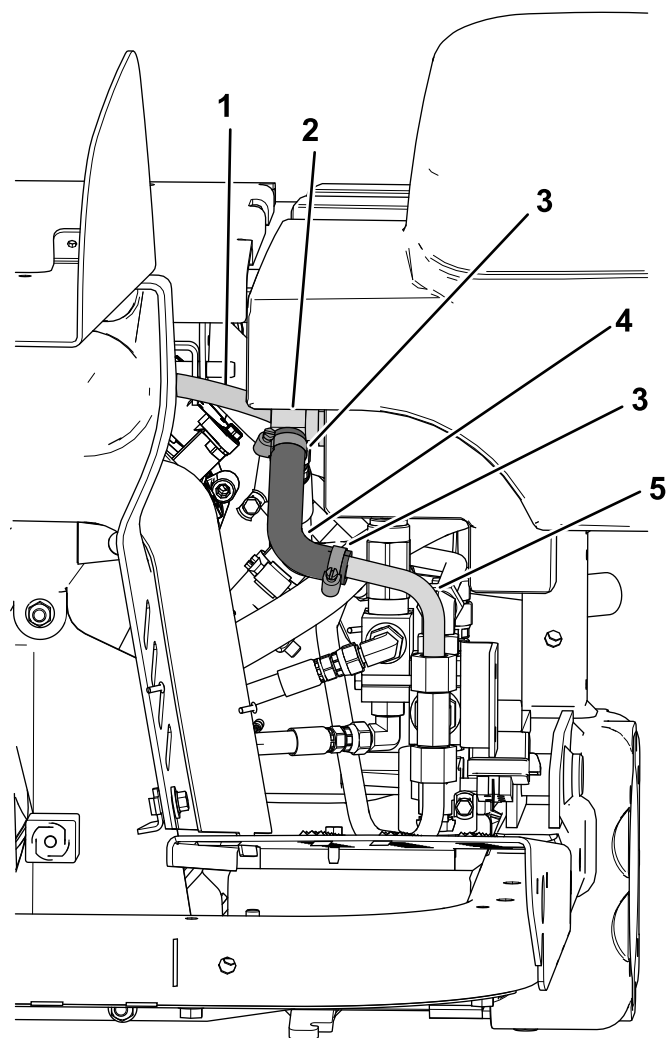


図 31

g363507

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| 1. 油圧ラインホース5番 | 4. 細いモールドタイプのホース |
| 2. 油圧オイルタンクの小さい 90 度 T 字フィッティングバーブ付き | 5. 油圧ライン4番 |
| 3. 小さいホース・クランプ | |

11

全部の接続部を締め付ける

必要なパーツはありません。

手順

注 取り付けたホースやラインが、鋭利な部分、高温部、可動部などに一切接触していないことを確認してください。

1. 全部の油圧ラインとホースの取り付けができた後、各接続部の締め付けを行う。

注 タンクのフィッティングの締め付けはレンチでバックアップする。

2. カップラブラケットを、左側タイヤにできるだけ近い位置に固定する。

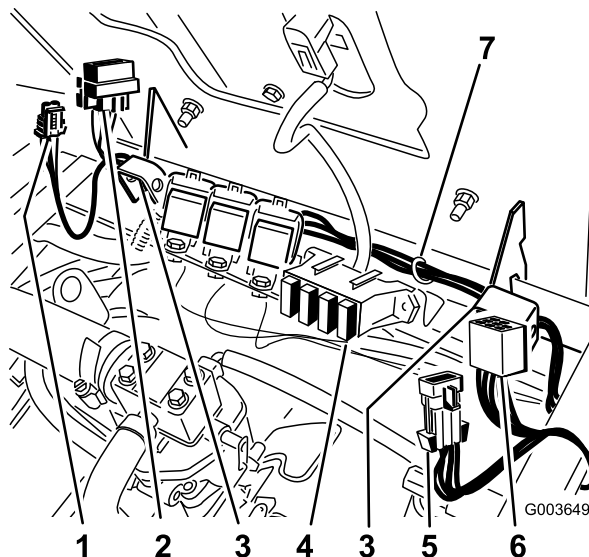


図 32

g003649

1. 小さいコネクタ
2. 四角いコネクタ
3. 運転席の蝶番
4. ヒューズブロック
5. メインハーネスコネクタ
6. スイッチ用コネクタ
7. ケーブルタイ

12

スイッチとハーネスを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ハーネス
1	スイッチ
1	ヒューズ

手順

1. 機体からコントロールパネルを外す。
2. パネルについているプラグを打ち抜いて、パネルにスイッチを取り付ける [図 34](#)。
3. ハーネスを、スイッチから運転席の蝶番部に沿って、先ほどバルブに取り付けたリレーまで配線する [図 32](#)。

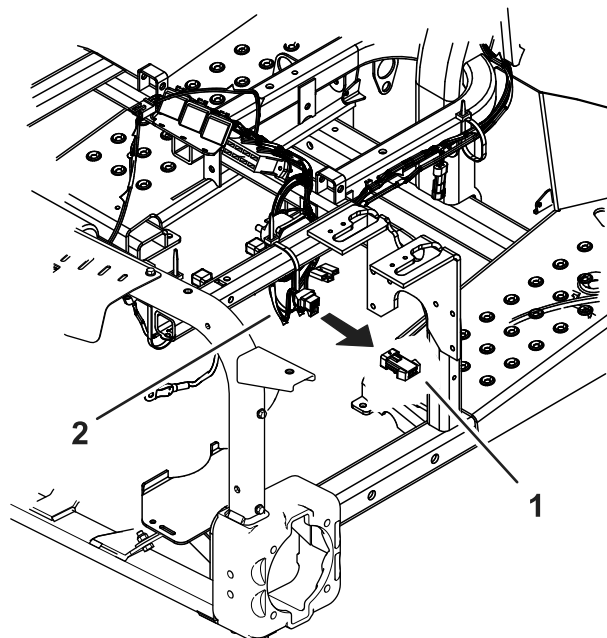


図 33

g363378

1. メインハーネスコネクタ
2. ジャンプワイヤ

6. メインハーネスコネクタをメインハーネスに接続する [図 34](#)。

7. コントロールパネルを機体に取り付ける。

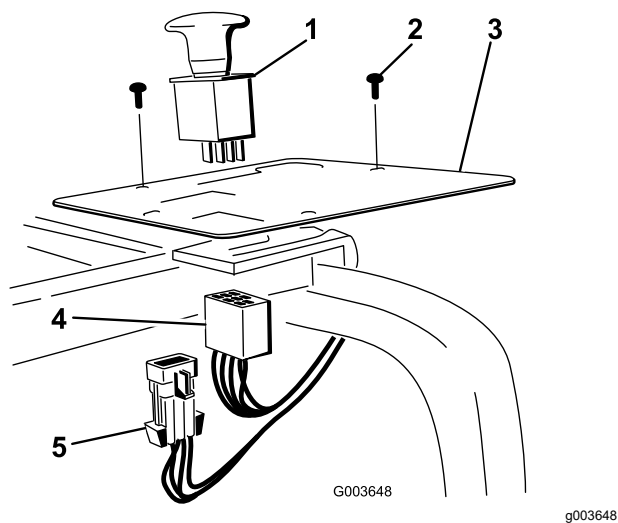


図 34

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. スイッチ | 4. スイッチ用コネクタ |
| 2. ねじ | 5. メインハーネスコネクタ |
| 3. コントロールパネル | |

ヒューズボックスの右側スロットにヒューズを取り付ける 図 32。

8. バルブの隣に取り付けたリレーにコネクタを接続する 図 35。

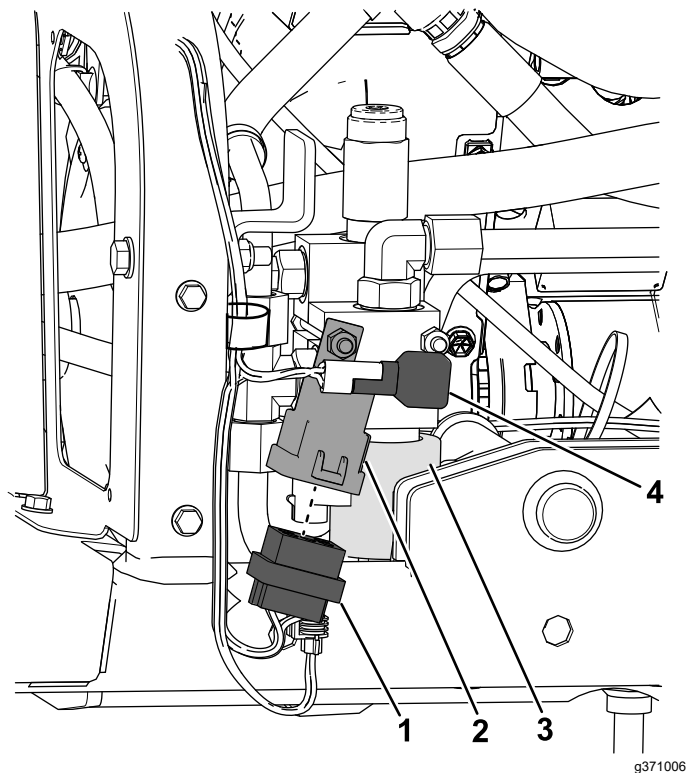


図 35

- | | |
|------------|----------|
| 1. 四角いコネクタ | 3. バルブ |
| 2. リレー | 4. ダイオード |

9. 新しいバルブに小さいコネクタを接続する 図 35。

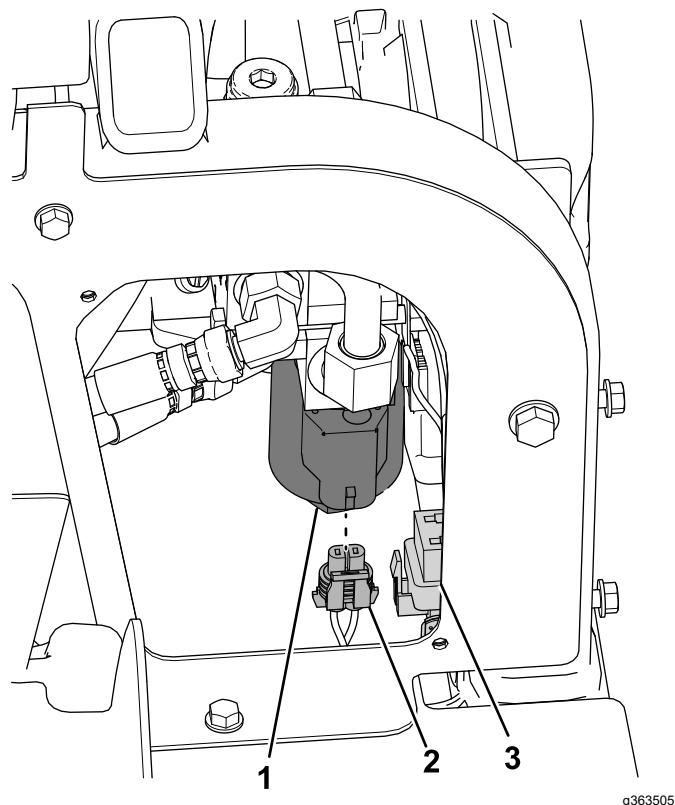


図 36

- | | |
|------------|------------|
| 1. 新しいバルブ | 3. 四角いコネクタ |
| 2. 小さいコネクタ | |

10. ケーブルタイを使って、ワイヤハーネスをバルブに縛り付ける。

13

油圧オイルを入れオイル漏れがないか点検する

この作業に必要なパーツ

6.6 L モデル 08703 と 08705	油圧作動液
-------------------------------------	-------

手順

モデル 08743 と 08745 の油圧オイル量は 26.5 L です。これ以上のオイルは必要ありません。

モデル 08703 と 08705 では、オイル 6.6 L を追加してください。

使用に適したオイルの種類についてはオペレーターズマニュアルを参照のこと。

1. モデル 08703 と 08705 では、油圧オイルタンクについているディップスティックを外して廃棄する。
正しいディップスティック P/N 110-8162 については、Toro ディストリビュータにお問い合わせください。
注 モデル 08743 と 08745 の正しいディップスティックは、マシンに付属しているディップスティックです。
2. 補給管から、必要量の約 80% のオイルをゆっくり入れる。
3. ディップスティックを入れ、油圧オイルの量を点検する 図 37。
4. Full マークまで残りのオイルをゆっくり入れる。

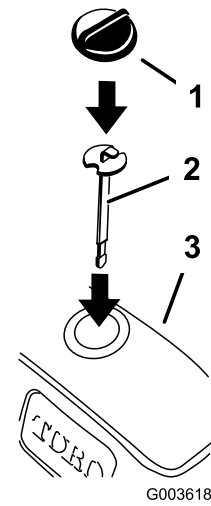


図 37

1. 油圧オイルタンクのキャップ
2. ディップスティック
3. 油圧オイルタンク

5. エンジンを始動し、5 分間程度運転する。
6. ボール紙を使ってオイルもれがないかどうか点検する。

警告

高圧で噴出する作動油は皮膚を貫通し、身体に重大な損傷を引き起こす。

万一、油圧オイルが体内に入った場合には、この種の労働災害に経験のある施設で数時間以内に外科手術を受ける必要がある。処置が遅れると傷口が壊疽を起こす危険がある。

- 油圧ノズルやのピンホール・リークからは作動油が高圧で噴出しているので、絶対に手などを近づけない。
- リークの点検には新聞紙やボール紙を使う。
- 油圧関係の整備を行う時は、内部の圧力を確実に解放する。
- 油圧を掛ける前に、油圧ラインやホースに傷や変形がないか接続部が確実に締まっているかを確認する。

7. フレームに左前スクリーンを取り付ける。
8. フレームに前シュラウドを取り付けるフランジヘッドねじ 4 本を使用する。
9. 左ホイール用のシュラウドをフレームに固定するフランジヘッドねじ 4 本を取り付ける 図 38。
10. 左後ろのタイヤを取り付ける 図 38。

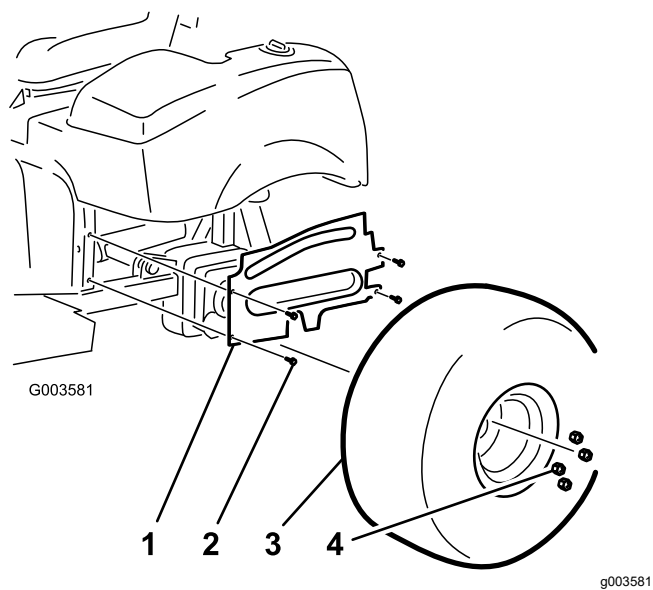


図 38

- | | |
|----------------|---------|
| 1. 左ホイール用シュラウド | 3. 左タイヤ |
| 2. フランジヘッドねじ | 4. ナット |

-
11. 機体を床面に降ろす。
 12. リアヒッチシールドを取り付ける。
 13. エアクリーナ・アセンブリを取り付ける。

メモ

組込宣言書

The Toro Company, 8111 Lyndale Ave. South, Bloomington, MN, USA は、以下に挙げるユニットが、以下に列挙する指令に適合していることをここに宣言しますただし、各ユニットに付属する説明書にしたがって、「適合宣誓書」に記述されている所定のトロ社製品に取り付けることを条件とします。

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
08781	409800000 以上	後部リモート油圧キット	REAR REMOTE HYDRAULICS	スカリファイヤ	2006/42/EC

2006/42/EC 別紙 VII パートB の規定に従って関連技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

確認済み



Tom Langworthy
エンジニアリング担当取締役
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
10月 18, 2022

権限を有する代表者

Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro Europe NV
Nijverheidsstraat 5
2260 Oevel
Belgium

UK Declaration of Incorporation

The Toro Company, 8111 Lyndale Ave. South, Bloomington, MN, USA は、以下に挙げるユニットが、以下に列挙する規制に適合していることをここに宣言しますただし、各ユニットに付属する説明書にしたがって、「適合宣誓書」に記述されている所定のトロ社製品に取り付けることを条件とします。

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
08781	409800000 以上	後部リモート油圧キット	REAR REMOTE HYDRAULICS	スカリファイヤ	S.I. 2008 No. 1597

S.I. 2008 No.1597のSchedule 10に基づいて、関連する技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する規制等に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

This declaration has been issued under the sole responsibility of the manufacturer.
The object of the declaration is in conformity with relevant UK legislation.

権限を有する代表者



Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro U.K. Limited
Spellbrook Lane West
Bishop's Stortford
CM23 4BU
United Kingdom

Tom Langworthy
エンジニアリング担当取締役
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
10月 18, 2022

EEA/UK におけるプライバシーに関するお知らせ

Toro によるお客様の個人情報の利用について

The Toro Company (“Toro”) は、お客様のプライバシーを尊重します。弊社の製品をお買い上げ頂いた際、弊社ではお客様に関する情報を、お客様から直接、あるいは弊社の支社や代理店を通じて入手いたします。入手した情報は、お客様との契約を履行するために使用されます。具体的には、お客様のための製品保証登録、保証請求の処理、万一製品をリコールする場合のご連絡、さらには弊社の事業を進めるため、たとえばお客様満足度を調査したり、製品の改良、またお客様にとって役に立ちそうな製品のご紹介などに使用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の子会社、提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。また、法律に基づく要請があった場合や、事業の売却、買収、合併などが発生した場合にはお客様の情報を開示する場合があります。ただし、マーケティングのためにお客様の個人情報を他社に売ることは絶対にいたしません。

個人情報の保存

Toro では、上記の目的にとって必要な期間にわたり関連法律に従ってお客様の個人情報を保持いたします。具体的な保持期間についての詳細をお知りになりたい方は以下にご連絡ください legal@toro.com。

セキュリティについての Toro のお約束

あなたの個人情報についての情報処理作業は、米国またはあなたが居住される国のデータ保護関連規制よりも規制がゆるやかな第三国で行われる場合があります。あなたの情報をあなたの居住国の外に移動する場合には、弊社は必ず法律が定める手続きを踏み、あなたの情報が安全に取り扱われ適切な保護がおこなわれるように、そして正しく取り扱われるように配慮します。

アクセスと訂正

お客様には、ご自身の個人情報を閲覧・訂正する権利があり、また、ご自身に関するデータの処理に対して異議申し立てないしは禁止を申し立てる権利があります。このような権利行使をなさりたい場合には legal@toro.com にメールでご連絡ください。弊社があなたの情報を取り扱った方法に懸念をお感じになった場合には、弊社に直接申し立てをしていただくようお願い申し上げます。なお、ヨーロッパにお住まいの皆様は、Data Protection Authority に対して異議申し立てを行うことができます。



Toro 製品保証

2 年間または 1,500 時間限定保証

保証条件および保証製品

Toro 社は、Toro 社の製品以下「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2 年間または 1,500 運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証は、エアレータ以外のすべての機器に適用されます。エアレータ製品については別途保証があります。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われる場合には、「製品」を納入した弊社代理店、ディストリビュータまたはディーラーに対して、お客様から連絡をして頂く必要があります。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 または 800-952-2740
E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

製品のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。必要な整備や調整を怠ったことが原因で発生した不具合などの問題点はこの製品保証の対象とはなりません。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toro の純正交換部品以外の部品を使用したことまたは Toro の純正部品以外のアクセサリーや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 製品を使用したことによって消耗した正常なパーツ通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、その他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、フローメータ、チェックバルブが含まれます。
- 以下のような外部要因が原因で発生する不具合天候、格納保管条件、異物、不適切な燃料、冷却液、潤滑剤、添加物、水、薬品などの使用。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラーへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は弊社の正規サービスセンターにご相談ください。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。注リチウムイオンバッテリーバッテリーの保証内容をご確認ください。

クランクシャフトのライフタイム保証プロストライブ 02657 モデルのみ

トロ社の純正摩擦ディスクおよびクランク安全ブレードブレーキクラッチ統合ブレードブレーキクラッチBBC摩擦ディスクアセンブリを当初から搭載し、当初の購入者様がトロ社の推奨する運転方法および定期整備を遵守してご使用されたプロストライブ製品には、クランクシャフトの曲がり不具合に対するライフタイム保証が適用されます。摩擦ワッシャ、ブレードブレーキクラッチBBCその他のデバイスを搭載した製品には、このクランクシャフトのライフタイム保証は適用されません。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

Toro 社は、本製品の使用に伴って発生する間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。当社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合があります。

排ガス保証についてのご注意

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧ください。